

令和二年夏号

やすらぎかわらばん



この度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に伴い、施設の運営といたしましても様々な方のご協力なしには成り立って行かない状況にある中で様々なご配慮をいただきまして誠にありがとうございます。これから季節は暑夏に移り変わりますが、マスク着用の夏ということもあり例年にも増して熱中症対策が必要になってきます。ご利用者の生活を支援していくためにも、職員の熱中症対策にも視点を向け様々な対策を行っています。

青梅大祭の見学や、昨年から実施している蛍狩りや青梅の花火大会の見学を今年度も進めていければと考えていましたが次々と中止となっております。また、近隣の学校や地域との関わりにおいてもやむを得ず自粛せざるを得ない状況となっております。

この状況をご利用者・ご家族様・職員・地域の方が全体に手を取りあいウィズコロナの時代を前向きにとらえ日々過ごしていければと考えております。



牛乳パックを3層に分けた後にちぎっている作業です。ご利用者同士で会話を楽しみながら作業をしました。

◆新生リハビリ課 ついに始動
4月よりやすらぎの家では機能訓練員3人態勢で臨んできましたが、新型コロナウイルス感染症の影響や、介護課での研修により7月より本来の機能訓練指導員3人態勢で行うこととなりました。3人が持つている資格の違いから、得意とする分野があり、様々な視点からご利用者の生活の質を高めていけるよう支援助していきたいと思いますのでよろしく願います。上写真 右から
あん摩マッサージ師・鶴身 崇
理学療法士・渋谷 郁美
柔道整復師・伊丸岡 泰之



牛乳パック紙すきの作業です。昔なんとなく経験があるようなお話をしながら作業を行っていました。

◆牛乳パックのリサイクル
牛乳パックを再利用してハガキを作成しました。工程としては
①牛乳パックは三層に分かれていて中央部分だけを取ります。
②ちぎる作業
③ミキサーにかける
④紙すきを行う
⑤乾燥後にアイロンがけとなり完成です。ご利用者が自身のできる工程で楽しみながら作業を行い、ハガキの完成に至りました。今回はそのハガキで残暑見舞いを作成しました。

① 新型コロナウイルス感染症

今年に入り、大きな見えない敵があらわれました。それが新型コロナウイルスです。新型コロナウイルスに感染すると、初めは本当にただの風邪症状で、特徴は長引くことです。3大症状としては「発熱・だるさ・乾性咳嗽」です。感染してから潜伏期間が3〜7日あり、症状が出たらまずは自宅待機の指示が出ます。ただの風邪なら自宅で治ります。いつもの症状ではなくなってきたら病院へ受診します。ただし、呼吸困難などの症状が出たらすぐに受診してください。発症してから8日〜10日で重症化し肺炎の症状が出ます。症状としては軽症では肺炎なし、軽度の肺炎、中等度では酸素投与が必要な状況となり、重症では集中治療室での治療が必要となります。

特に注意すべきは高血圧症、心血管系疾患、悪性腫瘍、糖尿病、肺気腫、慢性腎不全、脳血管疾患、免疫抑制薬・抗がん剤使用者、高齢者の方などです。

コロナ特集



新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として吹上しようぶ公園の開園を見合わせました。その菖蒲の花を市内の高齢者施設に市役所の方が届けてくれました。キレイなお花をありがとうございました。

② 感染症予防対策

新型コロナウイルスの感染症予防には基本の徹底が大切です。新型コロナウイルスの感染経路は飛沫です。咳やくしゃみから飛沫が飛び、鼻や口が侵入口となり次から次へと感染していきます。

感染経路を断つために必要なことは①マスクの着用、②手洗い・うがいの徹底、③アルコール消毒です。接触感染も疑われています。不特定多数の方と密を共有しない習慣をもちましょう。接触感染が起こらない為の具体的な状況として「3密」(密集・密閉・密接)を作らないことが大切です。



③ やすらぎの家感染予防対策

やすらぎの家で実施している職員の感染予防策についてお知らせします。

・職員は必ず出勤前に検温を行い自身の体調を確認します。その上で出勤し、発熱や呼吸器症状の問題のある場合は特別休暇にて対応。

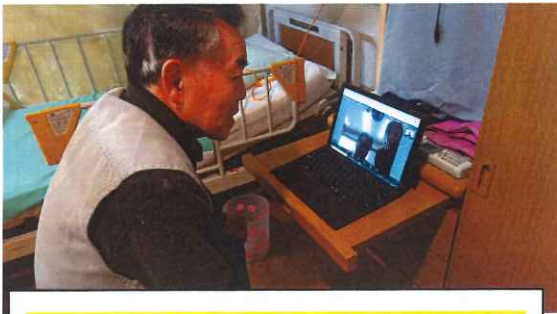
・食事中はマスクを外すため飛沫が飛ぶ可能性があり、対面での食事を中止しています。

・会議などは密集した状態になる為に、限られた人数で最低限の議題に絞り実施。

・緊急事態宣言中、お子様が保育園に通う職員は自宅待機として家庭内保育を進めたこと。

・高齢者施設はクラスターが発生するリスクが高いため、業務以外の時間帯の活動においても行動を制限されています。

・行事やボランティア活動での密集の機会を減らすため外部の方が関わるイベントなどは全て中止。クラブ活動は人数制限など対策をして継続しています。



オンライン面会の風景です。パソコンの画面を見ながら楽しくお話しています。



窓越しの面会の風景です。窓越しでもひ孫様の顔を見ることが出来、とても良い笑顔をしています。



◆新たな面会の方法
コロナ禍では今までのような面会を続けることが出来なくなり、インターネットを通しての「オンライン面会」や飛沫を防ぐための「窓越しの面会」を推奨し、ご協力をいただいております。この面会方法においても事前にご予約をいただいたうえで実施する形となり、新しい生活様式が始まった中ではやむを得ない状況ではありますが、ご家族様の協力がなければ実施できなかつたと施設職員一同感謝しております。今後は社会の情勢に合わせ、より近い形での面会ができる様、対策を進めていきます。



◆レクリエーション活動①
オンライン面会と同様のサービ
スを利用し、様々な取り組みを開始しています。
・リモート音楽レクリエーション
音楽ボランティアの斉藤さんには昨年
から施設で音楽レクリエーションの
ボランティアをしていただいております。
童謡・唱歌や昭和の歌謡曲などを自
前のエレクトーンで、伴奏を弾いて
ご利用の皆様と合唱する形で行
ってきました。この活動をリモ
ートで行ってみようという取
組みが今回の「リモート音楽レ
クリエーション」です。参加され
たご利用者からは「斉藤さん元
気？」という声や、大きな声で歌
を歌い楽しまれている表情が多
く見受けられました。



リモートの音楽レクリエーション。大きなスクリーンにボランティアの斉藤先生が映っています。歌はやはり楽しかった。

◆レクリエーション活動②
オンラインだからこそできる
取り組みも開始しています。そ
れが西多摩郡日の出町大久野保
育園との交流です。保育園の5
歳児・6歳児を中心とする「音
楽あそび」という取り組みをオ
ンラインでつなぎ、保育園児を
見とっしよに音楽を通して異
世代の交流を楽しみました。「あ
めふりくまのこ」、「七夕様」な
どを共に歌うことで「あー、私も
あんな時期があつたんだなあ」と
言って懐かしみながら微笑んで
いました。

◆やすらぎ菜園・今年もやります

駐車場奥にある畑で今年も様々なものを育てています。冬に植えたイチゴの収穫を終え、今はミニトマト・ナスと初挑戦のパプリカを栽培中です。特にミニトマトは4種類もの銘柄を集め、形・味の違うものが出来ています。

ご利用者の皆様に収穫の楽しみを体験していただきたいという思いで、坂本さんと共に手入れをしています。ぜひ見に来てください。これから夏になり汗をたくさん流しながらも一生懸命畑作業に邁進していきます！。



やすらぎひまわりプロジェクトで植えた種が成長しこんなに大きくなりました。



やすらぎの畑で収穫した野菜たちです。栄養満点でつやつやしています。

◆みんなであつなぐとてと会

吹上・野上・大門・塩船・谷野・木野下・今寺地区を対象とする住みやすい地域を考える協議体が結成され「みんなであつなぐとてと会」と名付けました。新型コロナウイルスの影響で当初予定されていた様々な芸能芸術などの発表会である「とてとと発表会」の企画は中止となりましたが、次の活動へ向けて準備しています。また隣の地域の協議体である「さくらF・I」のメンバーの方から畑に花が咲いたから摘みに来ませんか？といったお声を掛けていただき、お花を摘みに行ってきました。

そちらの畑には「やすらぎヒマワリプロジェクト」の種を畑に植えていただいております。



みんなが手と手を取り合って笑って過ごせる地域を作りたいという思いを込めてイメージしました。

◆やすらぎひまわりプロジェクト

東日本大震災から10年の年となりましたが、一部ではまだまだ復興が進んでいかないとあるところもあるようです。そんな中で2年前にやすらぎの家に咲いた福島親ヒマワリプロジェクトの2世と宮城県気仙沼で震災の地に1本だけ咲いた根性ヒマワリの10世をセツトにしてやすらぎひまわりプロジェクトをスタートしました。「東日本大震災を忘れない。風化させないことと一日でも早い復興を願うこと」を目的とし、ヒマワリの種を様々な場面で配らせて頂きました。

やすらぎの家だけではなく、福島県、神奈川県など様々な場所で花を咲かせる取り組みが報告されています。取り組みに参加していただける方は種をお配りしますのでお声掛けください。



※夏祭りについて

例年ご家族様を招き、盛大に夏祭りを開催しておりますが、今年度はご利用者のみを対象とした小規模な夏祭りを予定しています。7月25日(土)、8月1日(土)14時〜16時 また8月1日には狭山グリーン太鼓さんの演奏も予定しています。

新型コロナウイルス感染症拡大予防対策としてのご理解・ご協力をよろしくお願い致します。

